



迫力のある秀作が並ぶ  
「日展安曇野展」

本展(東京都・国立新美術館で昨秋開催)で展示した日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門計3037点のうち、全国を巡回する基本作品245点と、長野県内の作家の

入選作66点が並ぶ。22日は開幕に先立ち、同館でオープンング式典が開かれた。文化財団の長崎大幸理事長は「昨年の中止に触れ「一時は落ち込んだが、皆さんの力強い声に押され実現できた」とあいさつし、支援に感謝した。続く内覧会では、各部門の会場で陳列指導員が作品解説を行った。

日展の巡回展は京都や大阪などの大都市を巡ることが多く、10万人規模の地方都市では珍しい。文化勲章を受けた漆芸家・高橋節郎さんら一流の芸術家を輩出した地域性も評価

創設110年以上の歴史を誇る国内最大規模の公募美術展・第8回日展「安曇野展」(安曇野文化財団、日展主催)が、開館30周年を迎えた安曇野市豊科近代美術館で23日開幕する。新型コロナウイルス感染症拡大で一度は中止になったものの、関係者らの熱意で2年越しに実現した。厳しい審査をくぐり抜けた秀作311点が一堂に会する大規模な展覧会となる。

(原口香織)

# 待望の日展 安曇野に

## 2年越し実現 きょう豊科近美で開幕

された。日展の奥田中無休。開場は午前小由女理事長は「美しい9時〜午後5時。観覧料は一般1000円、大学生600円、高校生600円、高校以下は無料。問い合わせは豊科近代美術館(☎0263・73・55)と話している。5月15日まで(会期638)へ。

# 日本美術の「今」を幅広く

国内最大規模の総合美術展「日展」の巡回展「第8回日展安曇野展」が安曇野市豊科近代美術館で23日に開幕するのを前に、オープニング式典と関係者向けの内覧会が22日、開かれた。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門の計311点が並ぶ。東京で昨秋開いた日展の出品作3千点の中から245点を厳選した他、県内作家の66点を集めた。新たな表現に挑んだ絵画や、個性を生かして造形美を追求した立体作品まで日本美術の今を幅広く楽しむことができ

る。公益財団法人安曇野文化財団と公益社団法人日展が主催し、安曇野市と市教育委員会、信濃

## 「日展安曇野展」きょう開幕

毎日新聞社が共催する。式典には人形作家で日展理事長の奥田小田<sup>さゆめ</sup>さん、上高井郡小布施町出身の工芸作家で日展理事の春山文典さんらが出席。内覧会では5部門の役員らが見どころを語った。

安曇野文化財団の長崎<sup>ひろゆき</sup>大幸理事長は「めったに見ることができない素晴らしい美術品。一人でも多くの人に間近で見してほしい」と話していた。

5月15日まで無休で午前9時〜午後5時。一般千円、大学生600円、高校生以下無料。会期中は県内作家によるギャラリートークも企画している。問い合わせは安曇野市豊科近代美術館（☎02633735638）へ。



厳選された5部門311点が並んだ日展安曇野展の会場。22日、安曇野市



日本画の会場で作品解説をする岸野さん(左)

# 日展安曇野展が開幕

## 豊科近美 5部門311点 一堂に

安曇野市豊科近代美術館で23日、国内最大規模の公募美術展「第8回日展安曇野展」(安曇野文化財団、日展主催)が開幕した。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門計311点の秀作が館内を埋め尽くすように並び、訪れた人たちはじっくりと作品鑑賞を楽しんでいた。

23日は日本画家で日展特別会員・岸野圭作さん(68)＝三郷温＝のギャラリートークが行われた。展示されている作品の技法や画材、作者のエピソードなど、ユーモアを交えながら解説した岸野さんは、参加者たちに「画家の意図を考えるよりも、好き嫌いという感覚を大切に素直に作品と向き合ってください」と呼び掛けた。

会期中の毎週土、日曜日には県内在住の日展会員によるギャラリートークを予定している。5月15日まで(会期中無休)。開場は午前9時～午後5時。観覧料は一般1000円、大学生600円、高校生以下は無料。問い合わせは豊科近代美術館(☎0263・735638)へ。

近美と穂高駅間 29日から無料バス  
 安曇野市観光協会は29日から5月15日まで、「日展安曇野展」開催中の豊科近代美術館と、JR大系線穂高駅を往復する無料シャトルバスを運行する。穂高神社の式年遷宮祭(小遷宮)に合わせ、観光客らの周遊を図る。1日3往復で、29、30日、5月1、7、8日は4往復となる。

(原口香織)